

平成 29 年度 学校研究

1. 研究主題

『考えを発信し合い、深い学びを追求する生徒の育成』

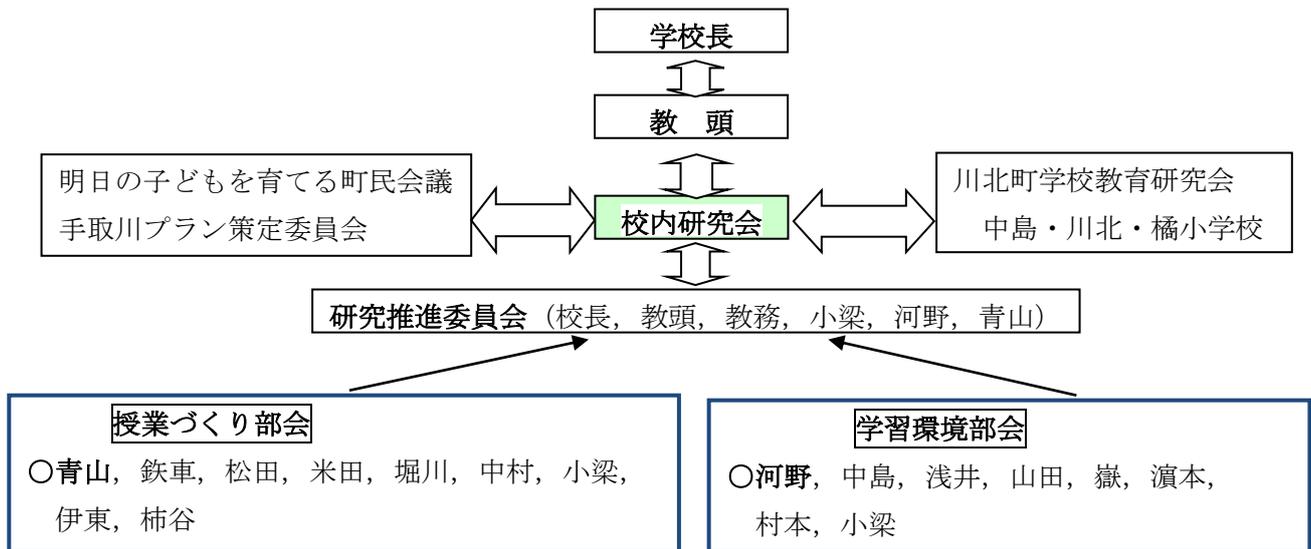
～ 授業改善と集団づくりを通して ～

2. 主題設定の理由

本校では昨年度、「授業力」「学級力」「学力」の3つの柱のもと、「課題を発見し、主体的・協働的に学びに向かう生徒の育成」を進めてきた。「授業力」では、小中連携の授業スタイルのもと授業改善を図ってきた。「学級力」においては、学級会の開催を定期的に行うことや、クラス内の課題に対して生徒が主体的に取り組みを進めてきた。また、全教育活動における道德教育の実施や考え議論する道德の時間の充実を図り、生徒一人ひとりの心を耕すことに力を入れてきた。「学力」では、学力向上ロードマップのもと、組織的な取り組みを進めてきた。3つの柱に対して、教職員の意欲も高く、連携した取り組みを進めることができた。しかし、授業において生徒は考えを持ちながらも、発言する勇気がなく、受け身な姿勢となることが多かった。また、発言を支える集団力のさらなる向上も課題としてあげられた。

今年度は、昨年度の課題である「発信できる生徒」「互いに学び合い深め合える生徒」の育成と、「意見を出し合える集団力の向上」を図ることとした。そのために、柱を「授業力」と「学級力」の2つに絞り、考えを発信し合い深い学びにつながる授業改善を推進するとともに、親和的で温かい、自治的な学級集団の育成を図り、生徒同士で考えを伝え合いながら、主体的・対話的で深い学びを追求する生徒の育成を目指し、研究主題を設定した。

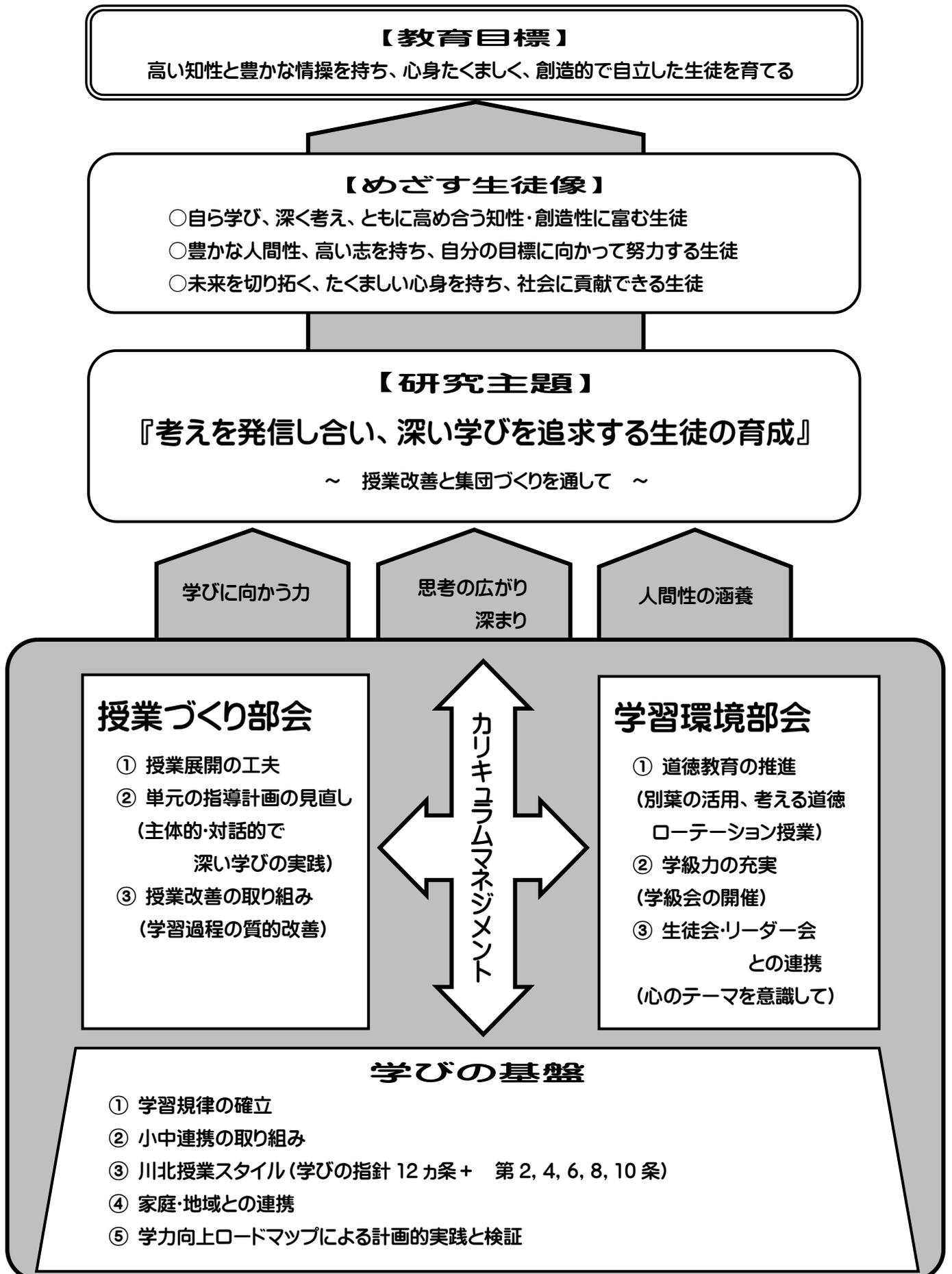
3. 研究体制



授業づくり部会・・・積極的な授業研究、授業力の向上、校内研修の充実、小中連携推進

学習環境部会・・・居心地の良い集団づくり、道德教育と特別活動の継続した取り組み推進
掲示物の制作、整備、家庭・地域との連携推進

4. 研究の構成図



5. 校内研究会

- 4月 当初 研究推進委員会①（研究内容、研究の方向性確認、年間計画の確認）
- 4月 当初 第1回校内研究会（研究主題、推進体制、研究計画の確認、個人研究テーマの提案）
- 4月 当初 第1回学級づくり学習会
- 4月26日 授業参観、全体会
- 5月17日 第2回校内研究会（指導案検討）
- 6月 1日 指導主事計画訪問 A（研究授業①、授業整理会）
- 7月 5日 第3回校内研究会（道徳研修会）※指導主事を要請して
- 8月 中旬 第4回校内研究会（指導案検討）※指導主事を要請して
- 8月 下旬 第5回校内研究会（小中合同研究会にて模擬授業） ※会場：川北小学校
- 8月 下旬 第6回校内研究会（QU アンケート、学力調査の分析）
- 10月17日 指導主事計画訪問 B（研究授業②、公開授業、授業整理会）
- 11月 9日 第7回校内研究会（模擬授業）
- 11月22日 **学びの組織的事業実践発表会**、公開授業、取り組み発表
- 1月22日 第8回校内研究会（各部会の反省と課題）
- 2月16日 第9回校内研究会（平成29年度の研究のまとめ、成果と課題の確認）
- 3月13日 第10回校内研究会（平成30年度の研究の方向）

6. 研究方法

① 考えを発信し合う授業の交流（年間を通して実施）

☆ チェック項目

- 生徒が話したくなる課題、発問の工夫（学ぶ意欲）
- 生徒が考えを交流・発信する場面の設定（学びの共有）
- まとめ、振り返りの充実（学びの実感）

② 校内研究会の充実

毎月の校内研究会では「学級力向上」「授業力向上」などのテーマのもと、内容を各部会で精選し、内容の充実を図る。

③ 個人研究

教職員一人ひとりの個人テーマのもと、学校研究にそって授業改善をすすめる。